

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 9 日作成)

小委員会名	海洋建築デザイン小委員会	主 査 名：関 洋之 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会	委員長名：濱本卓司
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・2011 年度：2010 年度の海洋建築設計指針作成 WG 目次案に従い、執筆分担。たたき台としての全体原稿（第 1 稿）作成。 ・2012 年度：第 2 稿の作成。 ・2013 年度：最終原稿作成。 ・2014 年度：各小委員会との間で最終原稿の調整。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：関 洋之 (梓設計) 幹事：恵藤浩朗 (日本大学) 委員：井上昌士 (日本設計)、荻原みき (東京電力)、黒木正郎 (日本設計)、西條 修 (日本大学)、佐々木仁 (アラップ)、濱本卓司 (東京都市大学)、藤田謙一 (千代田化工建設)、松井徹哉 (名古屋産業科学研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2013 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kaiyo/s0/index.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画 5 回)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. (名称)「対津波への減災を考える」 参加者数 71 名 (資料名)「対津波への減災を考える」
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 3 章の原稿執筆作業において、年度目標である最終稿を完成させることができたが、各小委員会との調整の中で構成・目次の見直しがあり、原稿の内容としては不十分なものとなった。内容の充実が今後の課題として残った。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員多忙のため出席率が悪く、メールでの打合せが多かった。このため意思疎通が不十分であった。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。